

東京都民のための観光を考えるシンポジウム

新時代の東京宝島観光

—東京の島々を観光でより豊かにするために—

國學院大學は東京都との連携により、都民の観光振興の理解を促進することを目的とした無料シンポジウムを開催します。お笑いコンビ・パクンマクンによる島旅トークや観光専門家による講演などを通じて、東京都が目指すべき東京宝島の持続可能な観光について考えます。



開催日 2024年2月25日(日)

時間 13:00～15:30 (受付開始 12:30)

会場 大島町開発総合センターホール

東京都大島町元町 1-1-14 大島町役場 1階

当日会場受付

定員200名様

無料

都内在住・在勤又は
在学の方ならどなたでも

**オンライン
同時開催**

プログラム

13:00-13:05 イン트로ダクション

13:05-13:15 開会挨拶 大島町長 坂上 長一 様

13:15-13:45 島旅トーク パクンマクン

13:45-14:05 世界の離島観光の事例紹介

14:15-15:30 シンポジウム「東京宝島の魅力と可能性」

参加方法

① 会場ご来場の方は直接会場へお越しください。
定員を超えた場合はオンライン同時配信をご案内する場合があります。

② 同時配信・アーカイブ配信視聴ご希望の方は、
右のQRコードまたは下記URLからお申込みください。
配信用URLを送信します。

URL : <https://forms.office.com/r/eZYi67Hqgp>



もっと日本を。もっと世界へ。

主催



國學院大學

後援：大島町／(公財)東京観光財団

島旅トーク パックンマックン

吉田眞とアメリカ・コロラド州出身のパトリック・ハーランが1997年に共通の知人の紹介で知り合い、パックンマックンを結成。日米文化をネタにしたお笑いで人気を博し、現在もテレビやラジオ、イベントなど幅広いフィールドで活躍している。

吉田 眞(マックン)

群馬県富岡市出身。県立吉井高校卒業。特技は釣りと料理。富岡市ふるさと大使就任、群馬県公認環境SDGsファシリテーター他。レギュラー番組は「ものスタ」(テレビ東京)、「なないろ日和!」(テレビ東京)他

パトリック ハーラン(パックン)

U.S.A. コロラド州出身。ハーバード大学 比較宗教学部卒業。特技は卓球、バレーボール。東京工業大学非常勤講師、流通経済大学客員教授他。レギュラー番組は「めざまし8」(フジテレビ)、「news23」(TBS)他
2005福井ブランド大使就任「東京未来ビジョン懇談会メンバー」など歴任



世界の事例紹介

石本 東生

國學院大學観光まちづくり学部 教授

ギリシャ・クレタ島における農村観光振興と地域づくり

日本で学部卒業後、イスラエルに1年半、ギリシャに10年滞在しておりました。帰国後は、在京のギリシャ政府観光局に12年勤務し、その後、大学の教員となりました。主に欧州の観光政策を専門としています。伊豆大島と面積がほぼ等しい、エーゲ海の著名な観光地サントリーニ島の観光振興については、長年研究しており、また近年は、EUの農山漁村における地域振興にも興味を持っております。



井門 隆夫

國學院大學観光まちづくり学部 教授

自然環境・地域文化を保全・活用する世界のエコロジ

専門分野は、宿泊業経営、コミュニティベースドツーリズム。特に小規模宿泊業の社会的インパクトや地域との協業について研究を続けている。東京諸島をはじめとする離島や全国各地の温泉地、東南アジアが主なフィールドで、学生とのフィールドワークも行っている。東京観光財団の東京都観光まちづくりアドバイザー、東京観光産業アドバイザーも務め、著書に「地域観光事業のススメ方 - 観光立国実現に向けた処方箋」などがある。



シンポジウム 東京宝島の魅力と可能性

寺田 直子

トラベルジャーナリスト / Hav Cafe 店主

東京生まれ。旅歴約40年。訪れた国は約100ヶ国。おもてなしビジネス、世界の極上ホテル&リゾートに精通。ラジオ出演、講演など多数。豊富な経験を活かしてインバウンド(訪日観光客)を含め日本の地方活性化、観光立国化に関するセミナー、ワークショップなどに参画。現在、東京都・伊豆大島を拠点に執筆のかたわら古民家を活用した Hav Cafe (ハブカフェ)を運営。2024年、島ぐらしの書籍を出版予定。



持丸 沙代子

NPO法人八丈島移住定住促進協議会 副代表理事、東京諸島リビングサービス㈱ 代表取締役社長、みらい八丈㈱ 代表取締役

2013年 結婚を機に八丈島に移住
2021年 東京諸島リビングサービス(株)を設立
2023年 みらい八丈(株)を設立
ミッションは「島暮らしの「あつたらしいな」をカタチにすること」
八丈島の地域課題の解決を、移住者+幼い子を持つ母の目線で考え、島にある遊休不動産を活用し、魅力ある拠点づくりを行うことで、様々な地域の人々が集う島づくりをめざす
現在は学生が無料で利用できるコワーキングスペース、キッズスペース完備のカフェを運営中



中島 泰

公益財団法人日本交通公社 おきなわサステナラボ長(上席主任研究員)

1979年東京都生まれ。2005年に財団法人日本交通公社(現・公益財団法人日本交通公社)に入社後、2011年主任研究員、2019年上席主任研究員、2021年環境計画室長を経て、2022年より沖縄事務所長を兼務。2012年より琉球大学非常勤講師、2022年からは同・客員准教授を務める。沖縄県のサステナブル・ツーリズムのあり方検討会検討委員、第三期サンゴ礁生態系保全行動計画策定検討会検討委員等兼務。



古川 楽人

神津高校卒 國學院大學観光まちづくり学部1年

私は将来、島に戻り皆の先頭立って地域の発展に取り組んでいきたいと考えていて、その漠然とした目標をより現実的なものにするために観光まちづくり学部に入學し、観光系の基礎知識であったり、フィールドワークを通しての現場経験だったりを身に着けたいと思い入学を決めました。また、同じ志を持つ仲間との出会いを通じて自己の見聞を深め、自分の能力を向上させていくために日々の生活に臨んでいます。



梅川 智也

國學院大學観光まちづくり学部教授

モデレーター

旅行・観光分野のシンクタンク(公財)日本交通公社で約40年にわたって日本各地の観光地の活性化や観光計画の策定、観光地経営、観光まちづくりなどに取り組む。立教大学観光学部特任教授を経て、2020年4月から國學院大學にて新学部設置準備に従事。2022年4月、観光まちづくり学部が新設されると同時に同学部教授、筑波大学大学院客員教授、東京女子大学非常勤講師等の他、観光庁、文化庁、神奈川県、三重県などの委員を務める。著書に「観光地経営の視点と実践」、「観光まちづくり」など。



問い合わせ先

國學院大學 観光まちづくり学部 地域マネジメント研究センター
電話：045-910-3800 開室時間：月～金 10:30～17:00
担当者：井門 隆夫 Email：ikado@kokugakuin.ac.jp

本シンポジウムは、東京都の「都民の観光振興への理解促進事業」の一環で実施します

会場アクセス

